

秋の文化財特別公開 10/30~11/3開催

県、市指定文化財の仏像見学

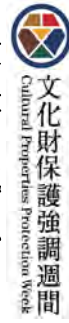
10/30と11/3は、説明員がご案内

(※)新型コロナの影響で、屋台など飲食を伴う催事は中止です。



聖観世音菩薩像 (平安時代作)

文化財保護強調週間
文化財に親しむことを目的として、文化庁では毎年十一月一日から一週間を「文化財保護強調週間」と定めています。
この時期に合わせて秦野市が主催する文化財特別公開の季節となりました。昨年は新型コロナウイルスの影響で、今年は見合わせました。今年も新型コロナウイルスの影響を考慮して、規模を縮小しての開催となります。野点・お寺力フェ・屋台などは中止となります。



令和4年9月号
編集・発行
NPO法人
はだの大日堂保存会
広報啓発事業部
編集室/秦野市養毛674
TEL/0463-81-3528-

[No. 20]

さて、境内の四つ文
建物には、県指定・
市指定の仏像二十五
他も有りますので、
合



閻魔大王

また、公開時間は午
前十時〜午後三時迄で
す。公開中は全ての建
物が見学可能です。
十月三十日と十一月
三日は仁王門、大日堂
本堂、閻魔堂の各お堂
には説明員がそれぞれ
の仏像についてのご案内
をさせていただきます。
また、大日堂境内に御
朱印受付所を設けます。
しかし、十月三十一
日〜十一月二日の間は、
こちらの対応メンバ
が少ない為、個々の建
物でのご案内は出来ま
せんが、出来る範囲で
のご案内はさせていただきます。
ご了承ください。

予告

一月にシンポジウムを開催

「養毛大日堂の諸堂と仏像」

本大会が行っておりま
す。大日堂の建造物と
仏像の整備・修復事業
について、広く秦野市
内外の皆さんに知って
いただくため、協力をお
願いする。ご協力をお
願う。大日堂の諸堂と
仏像の整備・修復事業
の現状と今後の活動に
ついて、お話を伺います。
十一月二十一日(土)五
時〜六時三十分(午後四
時)まで、秦野市文化館
小ホールにて行います。
開場は午後一時、どな
り



二王像(阿形)の足元

修復事業(工期四年)
の現状と今後について
ご報告申し上げます。
秦野市の重要文化財
二王像修復については、
朝日新聞文化財団に助
成金の申請を行いました。
たところ採択され、第
一年度分三〇〇万円の
交付が決定しました。

今期の活動と今後の展望

二王像・仁王門修復事業について

引き続き秦野市指定文
化財保存事業費補助金
の申請を行ってまいり
ます。
仁王門の修復については、
仁王門の修復費を国
の補助金でカバーする
計画を立てています。
また、秦野市に留め
て、計画を立てています。
また、秦野市に留め
て、計画を立てています。
また、秦野市に留め
て、計画を立てています。

なります。民間の財団
への助成金申請も逐次
行っています。
このほか、多額の自
己資金が必要ですが、
会員の皆様や有志の
方々からの寄付に加
えて、本会会員の三武
英行様から兄上忠義様
の御遺贈として二〇〇
〇万円もの寄付が申し
出をいただいたました
ので、前記申請が採択
されれば、来年度から
修復・修繕に着手でき
る見通しです。しかし、
計画完遂のためには、
引き続き皆さまの寄
付・ご協力が必要です。
引き続き皆さまの寄
付・ご協力が必要です。
引き続き皆さまの寄
付・ご協力が必要です。

- ① 開会挨拶(養毛山宝蓮寺住職・東島礼美)
- ② 大日堂の諸堂・諸仏が現代に問いかけるもの(本会理事長・松本亮三)
- ③ 大日堂の二王像(東京国立博物館学芸企画部長・浅見龍介)
- ④ 大日堂に見る登録有形文化財保全の重要性(ハリテイツマネージャーの視点から)
- ⑤ (株)ルナパーク代表・内田美知留)
- ⑥ 「地域の観光振興における文化資源の価値」(じゃらんリサーチセンター長・沢登次彦)
- ⑦ 質疑応答とティスカッシュ
- ⑧ 閉会挨拶(本会副理事長・水野功) 以上

《大日堂》 これからの特別・一般公開予定

- 10月30日～11月3日：特別公開 10:00～15:00
- 11月6日：月例一般公開 9:00～15:00
- 12月4日：月例一般公開 9:00～15:00
- 1月1日：元旦公開 9:00～15:00
- 1月8日：振替月例一般公開 9:00～15:00
- 2月5日：月例一般公開 9:00～15:00
- 3月5日：月例一般公開 9:00～15:00
- 4月2日：月例一般公開 9:00～15:00



閻魔堂で閻魔大王にご挨拶

参拝に来て頂いた方は、昨年の倍以上の400人以上となり、例年の賑やかさが戻り大変嬉しく思いました。また、沢山のご寄付もいただき、ありがとうございました。最後に、提灯、幟旗のご寄付も、ありがとうございました。



毎年恒例となった閻魔詣を、今年も八月十六日に開催しました。当日は、曇り空ではありましたが、なんとか最後まで雨も降らず開催出来ました。昨年と同様、新型コロナウイルスの影響を考慮しての開催となりました。その為、子供達に人気の「紙芝居」は、密を避けるために大日堂

閻魔詣

参拝者、昨年の倍に

の堂内から本堂横の境内に移しての開催とし、飲食の提供は中止としました。そして、大日堂本堂前は受付用テントを張り、提灯も飾り、例年通りの形に戻しましたが、閻魔堂へ向かう提灯は、昨年と同じく案内所協から閻魔堂へ続く道沿いに並べました。

寄稿 彫刻から秦野の歴史が見える

秦野のほとけ様展示会を開催 秦野ぶらり会・会長 石川邦夫様

秦野ぶらり会は平成3年に発足、現在31年目を迎えました。秦野を中心に幾つかのコースを作り、そのコースに文化財や遺跡を組入れて、そこを歩いて体力作りと勉強をする事が主な内容である。現在、例会数も325回となり、会員は準会員をると80名となりました。養毛・大日堂はぶらり会の原点、第一回目が養毛・大日堂でした。この時は参加者が7名でしたが、現在は30名位の参加者が集まります。

『このままでは、遺憾ね!』(養毛・大日堂に思う事)

養毛・大日堂を訪れる度に思う事、それは『これでは遺憾ね』である。建物の老朽化、文化財保護の在り方が気にかかる。そんな時、NPO法人はだの大日堂保存会の再出発が報じられ、本格的な修復へ踏み出した(令和4年3月)事から、ぶらり会は5月の幹事会で「秦野ほとけ様展示会」を実施し募金活動をする事を決定し、大日堂修復活動の下支えをする事にした。

『大きな成果を挙げた』(「秦野ほとけ様展示会」を8月に開催)

展示会の会場には暑い中、大勢の人に来て頂き、平安時代から現代までの「仏教文化と秦野の歴史」に触れて頂いた。解説は石川が行い、その中で、養毛・聖観音像の像高228cmにもふれ、調査では、この像が平安時代初期か限りなく天平に近い時代の作ではないかと考えられ、大きさでは日本一である。

今回の成果、及び、開催後の調査の結果、大蔵薬師堂や蔵林寺・阿弥陀如来像を追加した展示会を、11月23日～12月5日に本町公民館・展示ホールで行う事としました。

なお、今回の展示会での募金は3万余円になり、はだの大日堂保存会へ御渡ししました。



石川邦夫会長

秦野ぶらり会様よりご寄付

秦野ぶらり会様より、8月に開催された「秦野のほとけ様展示会」にて、大日堂の修復の為に募った募金30,758円をご寄付頂きました。ありがとうございました。ついでに、石川会長より寄稿文を頂きました。

寄付のお願い

大日堂の修復の為に、皆様からのご協力をお願いします。

お陰様で今年度(9/30迄)は、修復基金として、496,585円を積み立てる事が出来き、合計で、2,923,461円(一部、修復事業に使用済)になりました。これも皆様の温かいご支援とご理解のお陰です。ありがとうございました。

修復資金のご協力は、下記へお振込み下さい。お願いします。

<横浜銀行>
 【支店名】 秦野支店 【店番号】 661
 【預金種目】 普通預金
 【口座番号】 6230560
 【口座名義】 特定非営利活動法人 はだの大日堂保存会

編集後記

今号の『いらか』は例年と違い二面とさせていただきます。

その代わり、来年の一月二十一日に予定しているシンポジウム(一面に記載)に向けて、事前に皆様に来場頂ける様、一月に2面の『いらか』を発行する事にしました。

仁王門・二王像の修復を、なんとか来年四月にはスタートさせたいと思っていますので、皆様のお力添えの程、よろしくお願ひします。

ご案内

- ☆はだの大日堂保存会 ホームページ
-> <http://www.minoge-bunka.org>
-> 検索サイトから 「はだの大日堂保存会」で検索
- ☆お問い合わせ メールアドレス
-> info@minoge-bunka.org
- ☆お問い合わせ 電話番号
-> 0463(81)3528 (事務局 宝蓮寺内)

「はだの大日堂保存会」のホームページです。QRコードをスキャンしてください。

